

平成28年11月22日

会員各位

(一社) 神戸経済同友会提言特別委員会

委員長 永吉 一郎  
副委員長 小野 裕美  
副委員長 桑畑 純也  
副委員長 和田 剛直

ワンアクション！「健康経営宣言」エントリーのお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は委員会の運営に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年度の提言委員会では「兵庫・神戸一日本の『健康創造拠点』への飛翔」をテーマに議論を進めているところです。提言の柱の一つに、「同友会会員企業を先頭にした県内企業での健康経営の実践」を掲げています。

先般、当委員会が会員企業を対象に行ったアンケートによると、「健康経営」の言葉を知っていてなおかつ取り組んでいるのは3分の1程度。関心はあるが「何をしてよいのか分からない」との声も目立ちました。

そこで、来年2月の提言発表に先駆けて、会員企業が自ら健康経営に取り組んでいくことを呼び掛けたいと思います。まずはワンアクション。簡単なことでも「健康経営宣言」することで意識を高めていくことができます。

別紙に挙げたアクション事例の中から一つでも実践していればエントリーできます。

これを機に新たに始めたことでも構いません。同封した回答用紙に、企業名と事例を記入いただき、ご返送ください。来年1月末を回答のめどとしますが、随時お送りください。委員会ではできるだけ多くの事例を積み重ねることで、同友会内外の企業に健康経営の輪を広げ、兵庫、神戸からの発信としていきたいと考えています。エントリーしていただいた企業名は、提言書の中で紹介させていただきます。

用紙の返送は神戸経済同友会事務局までメール、FAX、郵送等いずれでも結構です

◆メール kobedoyu@pearl.ocn.ne.jp

◆FAX 078-392-7236

◆住所 〒650-0033 神戸市中央区江戸町91-1

問い合わせは神戸経済同友会事務局 電話078-331-5584

何卒よろしくお願いたします。

敬具

## ワンアクション！ 神戸経済同友会「健康経営宣言」のススメ

なぜいま、健康経営なのでしょう。

背景には、少子高齢化による医療費の増加、定年延長に伴って従業員の平均年齢が上昇し健康リスクが増大することなどが挙げられます。

社員の健康に「1」投資すれば、企業の生産性に「3」リターンがあるという研究成果もあります。健やかに働くことができる職場は企業にとって大きな強みです。

健康への投資は一企業の利益を左右するだけにはとどまりません。

昨今、地域による「健康格差」が明確に存在することが分かってきました。

兵庫、神戸はどうでしょう。

残念ながら決して健康優良児とは言えません。とりわけ働き盛りの不健康ぶりが目立ちます。これでは「働きたいまち」「住みたいまち」として選ばれないでしょう。

企業人として地域社会への貢献を目指す神戸経済同友会の皆さんに呼びかけます。

いまこそ、健康経営の最初の一步を踏み出しませんか。

以下の事例を参考にエントリーしてください。

《アクション例》

- ① 社内に健康管理者（管理職クラス以上）を任命する
- ② 社内を禁煙にする
- ③ 社員食堂で野菜の多い献立推奨。減塩表示、葉酸表示を行う
- ④ 万歩計をつけ、歩け歩け運動を推奨する
- ⑤ リフレッシュ&ストレッチコーナー設置（体重計、血圧計、器具を置く）
- ⑥ 社内で体操を行う
- ⑦ 健診受診率を100%にする目標を掲げ、達成するための方策を取る
- ⑧ 食事や睡眠に関する健康セミナーを開く
- ⑨ 社内に運動サークルをつくる
- ⑩ 社内健康新聞、メールマガジンの発行
- ⑪ 自動販売機のドリンクをお茶や水中心にする
- ⑫ 健康ポイントを貯められ、特典を受けられる
- ⑬ 管理栄養士が生活習慣病放置者をフォローする
- ⑭ その他、独自の取り組み

※以下の場合もエントリーできます。

- ⑮ 兵庫県の「健康づくりチャレンジ企業」に登録している
- ⑯ 経済産業省などによる「健康経営銘柄」を取得している
- ⑰ 協会けんぽ兵庫支部による「わが社の健康宣言」にエントリーしている

## 「健康経営宣言」エントリー用紙

### ■ 貴社名 ■

### ■ 「健康経営」として実践している取り組み ■

※アクション例の番号を記入していただいても、番号選択の上、加筆していただいても結構です。「その他」の場合、具体的にお書きください。

ご記入者名 ( )  
ご連絡先電話番号 ( )  
ご記入年月日 ( )